

学部別のキャリア教育 多文化社会学部

一日一社の企業紹介と業界案内

一年次から段階的にグローバルキャリアを学ぶ

キャリア支援センターでは、主に一、二年次に全学的なキャリア教育を行いながら、各学部ごとの専門的な取り組みとも連携しています。そのモデルケースとして二〇一四年度に新設された多文化社会学部の場合をご紹介します。お話を聞いた就職委員の白井章詞准教授はキャリア教育が専門で、民間企業で新入社員採用や教育に携わった経験もある、いわばキャリア教育のエキスパートです。

「多文化社会学部は一期生が現在三年生で、先輩学生がいません。その分、どうしても就活経験者による『ここは面白いから受けてみたら』『こういうことに気を付けて』といった生の情報が不足します。そこで一年次から「グローバルキャリアへの扉」や単位に組み込まれた「自主企画インターンシップ」を行ってきました。正課で少しずつ将来に向けた準備をしながら、三年

次からは一人ずつ希望を聞いて適性を探る個別面談や就職ガイダンスを集中的に開催します」。

五十社のシリーズセミナーで地方の不利をカバーする

昨年十月から今年二月初旬まではほぼ毎日行われている業界・仕事研究セミナーも新しい試みですね。

「はい、これは他大学にはない取り組みですよ。首都圏を含む約五十社の企業・各種団体の人事担当者が一日一社ずつ企業紹介や業界案内を行うものです。授業に支障のない六校時に行われ、三年生だけでなく、二年生や他

多文化社会学部で地域でのフィールドワークを学んでいます。地域に根差して貢献できる会社に興味があります。私は空港ビルディングのセミナーに参加しましたが、初めの旅行業的なイメージと違い、地域の方々との接点も大切にしていることがお話でわかりました。このセミナーでは、大手の上場企業だけでなく、知らなかった会社の存在や仕事内容を詳しく聞けるのがありがたいです。

多文化社会学部(3年) 中村彩葉さん



業界・仕事研究セミナー参加企業

10月28日	経済産業省
11月1日	住友三井オートサービス
11月4日	福岡空港ビルディング
11月7日	長崎県教育庁
11月8日	JTBグループ
11月9日	武田薬品工業
11月10日	パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
11月11日	長崎新聞社
11月21日	旭化成
11月22日	東芝テック
11月24日	日本水産
11月25日	持田製薬
11月28日	双日九州
11月29日	大学生協九州
11月30日	JETRO
12月1日	久原本家
12月2日	ANAカーゴ
12月5日	日産自動車
12月6日	JICA
12月7日	NHK
12月8日	九州旅客鉄道
12月9日	富士通
12月10日	共同通信社
12月12日	朝日新聞社
12月13日	高砂香料工業
12月14日	三菱電機ビルテクノサービス
12月15日	再春館製薬
12月16日	ハピネット(バンダイナムコグループ)
12月19日	大日本印刷
12月20日	損害保険ジャパン日本興亜
1月17日	三井物産
1月18日	帝人
1月19日	凸版印刷株式会社
1月23日	アイ・ケイ・アイ
1月24日	東海澱粉グループ
1月26日	西日本新聞
1月27日	(独)中小企業基盤整備機構
1月30日	古河電気工業
1月31日	カネボウ
2月1日	スターフライヤー
2月2日	住友商事
2月3日	Dell
2月14日	霧島酒造
2月15日	ベネッセコーポレーション
2月16日	アサヒビール
2月17日	神戸製鋼所

学部「あえて一日一社に絞ることで丁寧に説明していただけますし、聞く側もじっくり向き合うことができます。学

生が関心を持つ企業に合わせてジャンルも広げ、企業がどのような人材を求めているのかなど事前に聞き取りを行ってレポートで配布しています。中にはTOEFLの点数のみに惑わされないとか、求められる人物像をまねる人は落とすといった厳しい意見もありますよ。しかし企業の真剣なまなざしを早いうちから意識することで、おのずから学びの方向性や生活の質も変わ

新しい学部は可能性も無限大。手厚いキャリア教育と質の高い情報提供で、さまざまな選択肢の中から自分の人生を組み立てていきます。



(独)日本貿易振興機構(JETRO)のセミナーのようす。各セミナーでは後半に模擬面接を行うこともあり、実際の人事担当者とのやりとりで度胸をつきます。

設置三年目の多文化社会学部は卒業生がいなくても就職に関する生の情報が不足しがちです。それを補うのが一年次からの段階的な学びと多彩な企業セミナー。セミナーでは業界事情から会社概要までをじっくり聞くことで自分の将来に向き合うことができます。



白井章詞准教授

兵庫県生まれ。法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン学修士課程修了、法政大学政策創造研究科キャリア労働政策コース博士課程中退。法政大学総長室付企画・戦略本部特任講師、九州産業大学基礎教育センター専任講師を経て、二〇一六年四月より現職。日本キャリア教育学会の九州地区理事、九州地区事務局長を担当。研究領域は、若者・特に大学生への職業選択大学におけるキャリア教育。

「現在の就活は、三月に採用情報が解禁されて、六月に面接、その後すぐに内定と、超短期決戦でカオスのような状態です。説明会参加後、企業研究をする暇もなく一、二週間で応募書類の提出を求められます。そのカオスに突入する前に、職業観や目指すべき将来像などの軸を育てて臨んでほしいですね」。

新しい学部は可能性も無限大。手厚いキャリア教育と質の高い情報提供で、さまざまな選択肢の中から自分の人生を組み立てていきます。